

ほっと 道南 臨時号

道南知的障がい児・者家族会
発行人 安田 由美
事務局 新生園 0138-75-2212
発行日：2021年3月吉日
道家連ホームページ
<http://do-ren.ciao.jp>

寒い冬がようやく終わり春めいてきました。皆様いかがお過ごしですか。ほっと、お届けします。

新年度を迎えようとしています。道家連の「ほっと」もご覧ください。

2020年度はコロナウイルスの流行で、道家連の事務局会議もパソコンでのオンライン会議で開かれていました。高齢の役員も多く、集まることが感染のリスクになると考え、役員会も書面やパソコンといった方法をとりました。

Zoomを使った会議、いいところは距離に関係なく参加できることです。いずれ録画したZoom会議が視聴できるようになればいいな、と考えています。

道家連のHPへのご意見もお待ちしています。

まだまだコロナウイルスの終息が見えません。

コロナの流行が始まって1年が経ちました。

面会や外出の制限が続いている施設もあります。

北海道とくに道南でも、しばらくコロナウイルスの感染者がでて、面会や外出の制限がある施設があります。道家連でも、それぞれの施設と家族会とが話し合い、感染を防ぎつつ園内の行事や通院、面会や家族との外出をどうしていくか考えていきたいと思います、と声掛けしています。

道南でも役員会をなかなか開催できない状況でした。4月頃、コロナの状況を見て役員会を開く予定です。

函館市重度身体障害者等タクシー基本料金乗車券から「イカすニモカ」変更について

函館市から、次年度（2021年度）の基本料金乗車券発行申請と共に、「イカすニモカ」への変更について意向調査がありました。

タクシー補助券をなくし、バスや電車で使える

「イカすニモカ」に変更できないか？



道家連ホームページ

このことについて・・・道南家族会の役員の皆様から意見が寄せられました。

1. 知的障がい児者にとって、パニックなど、予期しない状態を想定するとバス電車での移動は困難。
2. 通院、外出、帰省のときに使いやすい交通手段となっていない。
3. 冬期間のバスの遅れを理解し、待ってられる知的障がい児者ばかりではない。
4. 親が高齢になって免許返納した後に、タクシーが利用できないと移動の手段がない。

などの理由から、タクシー乗車券の補助がなくなるのは困ります。

また、手をつなぐ親の会 相馬会長とも「会員は療育手帳 Bの方が多く、利用している人はあまりいないが、自分たちも高齢化して子供を車で連れていけなくなることもあり、療育手帳 Bの当事者にも制度が広がるとういと思います」と話し合っています。

A,B 判定に関わらず必要な時に利用できることが、外出の機会を確保し、 移動の自由を保障するものであると考えます。

このアンケートの趣旨について、3/1、13時から市役所において、

函館市役所障がい保健福祉課 加藤課長、岡本主査、紙合主事と面談しました。

- 前回のアンケートは7年前であり、久しぶりに行った。
- 現時点でタクシー補助券を中止する予定ではない。(あくまでも現時点)
- 「イカすニモカ」を読み取れる機械(カードリーダー)をタクシーに搭載してもらい、「イカすニモカ」でタクシー料金の補助をすることを検討している。機械をタクシーに普及するためにはまだ時間がかかるものと思っている。
- 冊子で作成し配布する費用が負担になっている。



など伺ってきました。

制度は一度廃止されてしまうと、元に戻すことは困難です。この制度が継続されるように道南家族会で要望書を作成し、函館市長へ届けることが必要ではないかと考えています。役員会で協議し、要望書提出にむけて署名活動など会員の皆さんと共に対策を講じていきたいと思っています。今後ともご協力ください。

* * 2021年度の道南家族会の総会も、集合して行くことが難しいと思われます。

書面での総会になった場合でも、皆様の応援をいただけますようお願いいたします。* *